

秋季セミナー・現場見学会特集

秋季セミナー

昨今、日本全土、北から南まで水害とか地震とか大きな自然災害が発生しています。7年前の東北の地震以降、国土復興ということで建設業界は大変忙しい時代になっております。働き方改革の法案が通過し、建設産業も担い手不足ですが、トンネルの文化というものも変えていかなければならないと思っております。トンネルの文化というのは、田舎から出稼ぎに来て少しでも多く給料を稼いで、田舎の家族に仕送りするというものです。今も尚その文化が続いているのは確かですが、最近は今の給料を維持しながら休みも欲しいという流れなので、どういう形で調整していくかということが今後の課題だと思っています。また、作業を途中でやめるとトンネルが崩れて崩壊してしまうケースもあるので、時間をおかずに続けてやっていくというケースもありますので、その辺はケースバイケースで状況を判断する必要があることを伝えていかなければなりません。

また、我々には工期の問題があります。少しでも工期を縮めて生産性を上げることを主眼として今まではやってきましたが、生産性を上げていくにはやはり機械化、IT化というものを取り入れてやっていかなければならないと思っております。機械メーカーの方、電気メーカーの方という直接施工に関わらない人達の協力も必要です。問題は、機械化が進んでも機械を取り扱う者がついていけないということです。機械は故障するものですが、技術者、修理する者というメンテナンスを行う人も減ってきています。機械化が進んでもメンテナンスをする人がいなければ現場は止まってしまう、生産性があがらなくなってしまいます。メーカーの人が来なければトンネル内で何日も止まっている状態になるケースも出てきます。このように、ただ機械化すれば良いという事ではなく、発注者、元請けに相談しながら前向きに取り組んでいかなければならないと思っております。



行政講演

※お役職は平成30年9月14日現在です



『建設キャリアアップシステムの構築と政策展開』

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室長 藤條 聡 様

目下 建設業界をあげて取り組んでいる建設キャリアアップシステムについて、内容詳細及び今後の運用目的・スケジュール等に関する説明がなされました。併せて「建設技能者の能力評価制度・専門工事企業の施工能力等の見える化」及び「建設業働き方改革加速化プログラム」「技能者の建設業法上における位置付け」等についてもご講演して頂きました。



『働き方改革推進法における労働時間法制の見直しについて』

厚生労働省 労働基準局 労働条件政策課 法規担当課長補佐 高橋 亮 様

働き方改革推進法の作成部署である労働条件政策課から高橋講師をお招きし講演して頂きました。始めに「なぜ働き方改革が必要なのか」について我が国における労働時間等の現状を踏まえ、現行法制を改正する必要があることを説明されました。続いて改正のポイントとして「時間外労働の上限規制」「年次有給休暇の時季指定」「フレックスタイム制の見直し」等について、配布資料に沿った詳細の説明がなされました。

来賓挨拶要旨

※お役職は平成30年9月14日現在です

国土交通省 大臣官房 技術審議官 五道 仁実 様



今政府では、人作り革命、生産性革命、又、それを含めて働き方改革が進められております。その中で国土交通省では、アイコンストラクションということで、働き方改革、生産性向上を含めて新しい技術、又、人作りをしながら行う建設業の現場の管理を進めております。働き方改革、生産性革命を進めて3年目、進化の年として、どういう形で現場を変えていくのか、働き方改革を進めていくのかということについて、意見交換をしながら進めていきたいと思っております。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課 建設安全対策室 佐々木 邦臣 様



本年の全国労働衛生週間のスローガンは「心と体の健康作り、みんなで進める働き方改革」です。この機会に改めて現場での日々の労働者の健康状態の把握等がしっかり進められているか確認し、労働衛生水準の意識向上につなげていただきたいと思います。また、今年度は第13次の労働災害防止計画の初年度です。死亡災害がまだまだ多いということで、5年間で死亡災害を15%減少という目標を掲げております。今後とも安全確保に従事して頂ければ幸いです。

また、建設業労働災害防止協会様をお願いしておりますずい道等建設労働者健康情報管理システムにつきましても現在システムの構築等を進め、来年3月から可動を目指して準備を進めております。システムが可動しましたら、健康情報の登録にご協力をお願いします。

一般財団法人 建設業振興基金 専務理事 伊澤 透 様



建設業振興基金では、担い手の確保育成、それから皆様方にご活用頂いております建設産業活性化助成事業などの強化に取り組んでおります。その中でも取り分け力を入れております建設キャリアアップシステムですが、こちら来年4月の本格運用開始に向けまして、現在正念場を迎えております。当初は今年の秋に本格運用開始ということでお約束していましたが、所管の事情がございまして、来年4月に後倒しになりましたことを、この場をお借りしまして心からお詫びを申し上げます。来年4月に向けまして1月年明けから限定運用を開始します。

一般社団法人 日本建設業連合会 常務執行役 北内 正彦 様



私は4月から日建連に來まして前職はゼネコンの社員でした。今回9月頃に新潟県の地場のゼネコンを訪ねたところ、そこは鉄道土木を主にやっている会社で、尚かつ営業線で今動いている所を補修する作業のため「正直週休2日は無理ですが、4週6休、4週8休を目指します」といわれていました。私も鉄道土木を何回かやっておりますので、夜間、夜勤という仕事は理解しているつもりです。同じようにトンネルにつきましても、地方の出稼ぎの方々の稼ごどころということは理解しております。どこまでなら対応可能なのかということをしかりと受け止めて、国交省とお話をさせて頂きたいと思っております。

調査研究報告

労務安全衛生専門委員会：『トンネル工事安全ダイジェスト』

技術・情報委員会：『平成29年度スライドに関するアンケート調査報告書』

『働き方改革に関するアンケート調査報告書』

施工環境委員会：『事業継続計画(BCP)の作成』

幹部社員研修会

平成30年9月3日(月)～4日(火)に東京都港区で幹部社員研修会が開催されました。

1日目は講師：㈱みどり合同経営専務取締役 澤田兼一朗 様による講演：『地域建設業の勝ち残りの方向性と具体例』、2日目は講師：アサシエ経営労務事務所代表 中小企業診断士 手島伸夫 様による講義：『若者を定着させる働き方改革の理論と実践』が行われました。



平成30年度第2回合同安全パトロール

平成30年10月3日(水)に北海道で縦貫道自動車道大沼トンネル避難坑西大沼工区工事の合同安全パトロールが開催されました。当日の作業は、職員2名、作業員10名の編成で避難坑AGF施工が行われていました。パトロールの結果は、注意・是正事項として“郊外におけるズリ出し作業の動線の検討”、“坑内換気設備の風管に一部漏れが見られるのでその手直し”の2点が挙げられました。その上で、総合評価として、“坑内湧水の有る中で路盤の維持に努めているが、レー尔工法に変更されるまでは注視を怠らないよう努めて下さい”、“ズリ出し作業は、坑内ダンプトラックがバック走行なので、関係ない人は立入らないよう徹底され、接触災害の防止に努めて下さい”、“坑内の明設備の設置状況と配管の配列状況については直線的で良好です”以上3点が記載されました。

工事概要

発注者:北海道開発局
元 請:大林・岩田地崎・森川JV
施 工:吉田直土木㈱
工 期:平成30年1月～平成33年4月
延 長:3,708.8m



安全の誓い



元請所長より現場説明

切羽付近パトロール

現場見学・研修会

平成30年10月12日(金)～13日(土)に野崎会長他総勢59名が参加して熊本県菊池郡の熊本57号災害復旧 二重峠トンネル(大津地区)工事現場で現場見学研修会が開催されました。

最初に清水・福田・松下JV 金岡所長より工事概要について説明があり、続いて石田土木・山崎建設JV 道林所長より見学説明を受け、坑内を見学致しました。その後、宿舎ホテルの会議室にて有意義な研修・意見交換が行われました。

工事概要

発注者 :国土交通省 九州地方整備局
元 請 :清水・福田・松下地域維持型共同企業体
施 工 :石田土木・山崎建設共同企業体
工 期 :平成29年3月～平成32年5月
トンネル延長:本坑 L = 1,839m(全体L = 3,659 m)
避難坑L = 1,833m
本 坑 :標準掘削断面 = 106m²
避難坑 :標準掘削断面 = 50 m²
掘削方式:発破掘削
ズリ出し :重ダンプ方式



金岡所長工事概要説明



坑内での説明



日建連粉じん障害防止対策推進強化月間現場パトロール

平成30年10月18日～19日に日建連主催の粉じんパトロールが福井トンネル工事を実施され、トンネル専門協から野崎会長、今井事務局長が参加しました。



国土交通大臣、厚生労働大臣、土地・建設産業局長顕彰受賞



向かって左から西井氏、山崎氏、阿南氏

当協会が候補者を推薦致しました平成30年度建設マスター・ジュニアマスター及び安全優良職長の国土交通大臣、土地・建設産業局長及び厚生労働大臣顕彰の受賞が決定し、顕彰式典が開催されました。各受賞者、式典は下記の通りです。

1. 建設マスター(優秀施工者)・ジュニアマスター(青年優秀施工者)
 - 1) 受賞者 ①建設マスター: 山崎勝也氏(石田土木㈱)
阿南忠陸氏(成豊建設㈱)
 - ②建設ジュニアマスター: 西井隆也氏(吉田直土木㈱)
 - 2) 式典 開催日時:平成30年10月5日(金)
会 場 :メルパルクホール(東京都港区)
2. 安全優良職長
 - 1) 受賞者 中村 隆氏(㈱すばる建設)
 - 2) 式典 開催日時:平成31年1月11日(金)
会場:厚生労働省講堂(東京都千代田区)



中村氏

登録トンネル基幹技能者講習

平成30年11月8日～11日に守山会場にて平成30年度第2回登録トンネル基幹技能者講習が開催され、13名の受講者の修了が承認されました。累計講習修了者は628名になりました。



氏名	所属組織名	修了証番号
上口 徹也	㈱興和建設	第061811-00616号
官崎 和馬	㈱興和建設	第061811-00617号
藤井 康弘	㈱興和建設	第061811-00618号
嵐 新一	笹島建設㈱	第061811-00619号
児玉 和佳	庄司建設工業㈱	第061811-00620号
佐藤 浩和	庄司建設工業㈱	第061811-00621号
吉田 久	㈱すばる建設	第061811-00622号

氏名	所属組織名	修了証番号
安東 公明	成豊建設㈱	第061811-00623号
盛川 智博	成豊建設㈱	第061811-00624号
渡邉 慶一郎	成豊建設㈱	第061811-00625号
佐々木 輝幸	吉田西豊建設㈱	第061811-00626号
原 圭太	吉田西豊建設㈱	第061811-00627号
石橋 知幸	吉田直土木㈱	第061811-00628号

また、9月8日に開催された大阪会場での更新講習で41名の方、12月8日に開催された札幌会場での更新講習で25名の方が修了証を更新されました。

協会からのお知らせ【今後の予定】

- ・平成30年度第4回登録トンネル基幹技能者更新講習(福岡会場) 平成31年2月9日
- ・平成31年度第12回社員総会 平成31年5月16日
- ・平成31年度第1回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター) 平成31年7月11日～14日
- ・平成31年度秋季セミナー・懇親会 平成31年9月13日

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tonnel.jp>